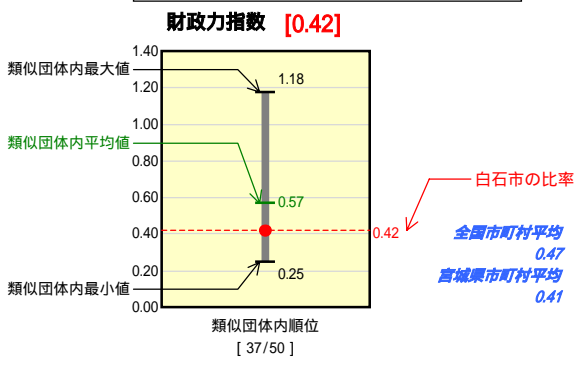


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

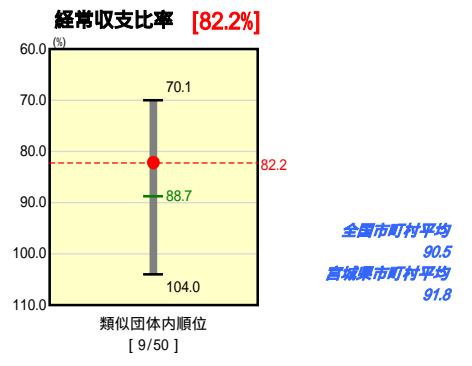
## 宮城県 白石市

人口	39,996人(H17.3.31現在)
面積	286.47 km <sup>2</sup>
歳入総額	15,651,736千円
歳出総額	15,255,496千円
実質収支	332,369千円

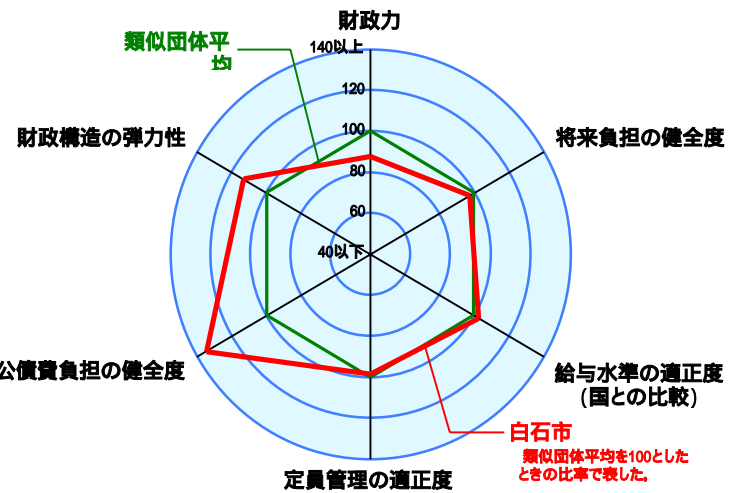
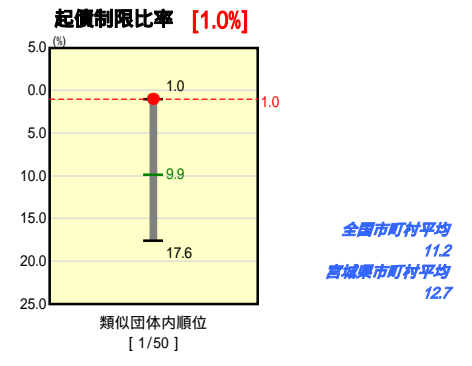
### 財政力



### 財政構造の弾力性



### 公債費負担の健全度

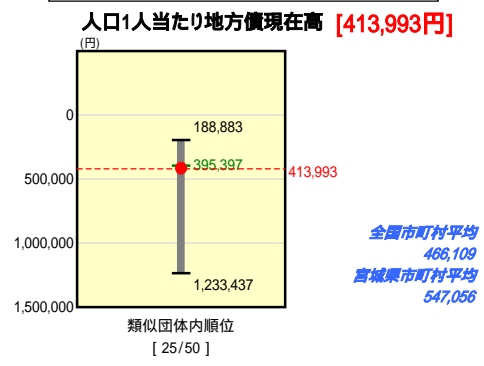


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

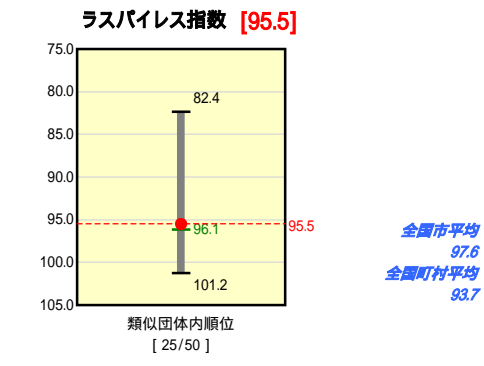
**分析欄**

**財政力指数**  
 ・人口の減少や2.5%を超える高齢化に加え、長引く景気低迷による減収などから、0.42と類似団体平均を下回っているため、定員管理適正化(5年間で約5%減)などに取組むとともに、税込納率の向上(5年間で1%の向上)を目指す。  
**経常収支比率**  
 ・平成7年から高利率の地方債については、繰上償還を実施してきたことにより、類似団体平均を下回っている。今後、扶助費の増加などで比率の悪化が予想されるため、定員管理適正化や管理職手当の見直し(1.0%の削減)による人件費の削減など義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持する。  
**起債制限比率**  
 ・白石市総合計画のもと、適切な事業実施により、類似団体平均を大きく下回る1.0%となっている。過去3年間、同程度となっているが、今後、増加の兆しが見られるため、緊急度・住民ニーズを的確に把握した財政運営に努める。  
**人口1人当たり地方債現在高**  
 ・類似団体平均を若干上回っているが、高利率の地方債などについては繰上償還を実施してきたことにより、今年度より類似団体平均の水準になることが見込まれる。  
**ラスパイレス指数**  
 ・全国平均値を2.5ポイント下回り、類似団体平均値とは0.6ポイントの差があることから、ほぼ適正な水準であると考えられる。今後も、引き続き各種手当の総点検を行うなど、より一層の給与の適正化に努める。  
**人口1,000人当たり職員数**  
 ・これまで適正化計画を着実に実行しているが、全国市町村平均をわずかに上回っている。平成22年4月1日における市全体の総定員については、平成17年4月1日現在の総定員に対して新地方行革指針に掲げている4.6%を目標として職員削減に努める。

### 将来負担の健全度



### 給与水準の適正度(国との比較)



### 定員管理の適正度

